

本作戦の爲マレー及スマトラ方面海域の敵艦船に對する警戒及攻撃は本  
 作戦一段落に至る迄陸軍航空部隊之に任ず

右期間情況之を要すれば陸軍航空部隊はチモール方面の防空に協力す

これに基き第二十三航空隊の戦闘機二二機、陸攻一二機及び陸偵

四機は九月六日クイバン巔南東方面に向つた。

第五 一九四二年初秋より一九四三年六月までの作戦

本期間に於ける日本軍全般作戦は、全くガダルカナル島の熾烈なる戦  
 闘を中心とする南東方面に集中された。従つて南西方面に於ては殆んど何  
 等の新企圖も見られず専ら現有兵力を以つて前任務を結行したにすぎな  
 かつた。

この期間南西方面部隊が實施した作戦の主なるものは濠北方面よりする對濠洲西北岸航空攻撃であつた。一九四二年初秋、南西方面海軍航空部隊はその兵力の一部を南東方面に引き抜かれたが、それでも濠洲西北岸に對し毎月一回程度以上、晝間及び夜間攻撃を實施した。しかし南西方面現有航空兵力は、南東方面に於ける航空戦の情況に應じ漸次減少せられた。一九四三年四月十五日には、從來主としてアンダマン方面にあつた第二十一航空戦隊が南西方面艦隊より除かれ、第十一航空艦隊（南東方面所在）に編入せられた。これが爲南西方面所在航空兵力は第二十三航空戦隊（戦機四八、陸攻三六、飛艇一六）程度となつた。にも拘らず右航空部隊は一九四三年三月に二回、五月に五回ポートダーウィン方面に對し晝間攻撃を敢行した。

一方ポートダーウィン方面から來襲する敵航空攻撃は漸くその頻度を増し、一九四三年に入るや、アラフラ海一圓に荒されるに至つた。しかしわが海軍航空部隊は、その都度、戦闘機又は水上戦闘機を以つて邀撃に努め、其の努力の成果もかなり見るべきものがあつた。

一九四二年十月十五日大海指を以つて、小スンダ列島及びアル、タニンバル諸島防衛強化に關し、中央協定が結ばれたことは前項に述べたが、これに基きチモール及びアラフラ海離島方面に夫々、第四八師團及び第五師團を注入これを強化した。海軍部隊はこれが護衛に任じた。陸軍に於ては一九四三年一月七日これ等の地方を管すも第十九軍司令部を設置した。一九四二年十二月十五日には初雁、友鶴を以つてニューギニヤ南岸ミ

ミカに上陸作戦を実施し、敵の反撃なく約二七〇名を上陸せしめた。

十二月十八日、南西方面艦隊司令長官はホーランドヤの進駐を下令し名取、巖島に陸戦隊二ヶ中隊は十二月二十五日ホランダヤに進駐し、これを占據した。一方十二月二十九日には西部ニューギニア方面防衛強化の見地から、第二十五特別根據地隊司令部が新設せられ、同方面を管することとなつた。

また一九四三年四月十五日には従来南西方面艦隊司令長官の兼任であつた第二南遣艦隊司令長官を新に新補せられた。

一九四三年三月二十五日帝國は戦況に應じ第三段作戦方針を案畫し、同日附大海指第二〇九號を以つて指令した。

大海指第二〇九號（一八一三一―二五）

第三段作戰帝國海軍作戰方針中南西方面關係事項の拔萃

一 海陸軍緊密に協同して南方占領地域の防備を嚴にし敵の奪回及空襲を阻止撃破す

二 濠洲北西部に對し適時航空襲を實施し同方面よりする敵の反攻企圖を未然に破摧するに努む

三 ベンガル灣東部に於ける海上及制空權を確保してビルマに對する補給輸送路を安圖ならしむると共に同方面に對する敵の反撃を先制撃破すると努む

四 別に定むる所に依り機を見てニューギニヤ南部の要域を攻略す  
 五 潜水艦及機宜水上艦艇を以て印度沿岸及濠洲西岸に於ける敵海上輸

海軍

1697

## 送路を破壊す

六機宜陸軍と協同しココス島を攻略し又敵艦隊及要地に對し奇襲破壊を行ふ

本第三段作戰計畫に於て特異とするところは右の第四項に於て示されたニューギニア南部に對する反撃進攻と、第六項のココス島攻略である。ソロモン群島を中心とする南東方面の戦況は、日一日と悪化しつつあるとき、日本の求め得べき唯一の反攻路はニューギニア南部であつた。この希望が本作戦計畫の企圖となつて現はれたが、現實に於ては一九四三年中期現地部隊を以つてミミカ方面に偵察的作戰を實施したに止まり、龍頭蛇尾に終つた。ココス島攻略は遂に實現を見るに至らなかつた。

また略これと時を同じくしてアンダマン方面の強化が策せられた。

海軍

陸軍の兵力増強に策應し、海軍はカーニコバル島に吳第八特陸を、ブレアに防空隊一隊、砲隊一隊、サバンに砲隊一隊を、一九四三年七月末注入した。

第六 一九四三年七月より一九四四年三月までの作戦

一九四三年初頭以來小康を保つてゐた南東方面の戦局は、同年六月下旬、聯合軍のニュージヨヂヤ方面及び東部ニューギヤ方面進政により俄然活況を呈し、且つ戦局は明にわが方に不利であつた。九月に入るや、わが陸海軍全般の作戦指導の改變を要するに至り、九月三十日大海指第二八〇號を以つてその旨達<sup>示</sup>された。

大海指第二八〇號

中南部太平洋方面作戦 陸海軍中央協定 抜萃

其の作戦方針とするところは

海軍

1699